

# 第 1 1 期 総 会 資 料

## 目 次

1	2011年度	事業報告	1
	第1部	事業概要	1
	第2部	会計報告及び会計監査報告	27
2	2012年度	事業計画(案)	32
3	2012年度	予算(案)	45
4	2012年度	役員選任	46



特定非営利活動法人  
日本システム監査人協会

# 2011年度 事業報告

## 第1部 事業概要

### 1. 本部

#### 1. 全般概要

##### (1) 会員の状況 (2011年12月末現在)

正会員・個人・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 904名

正会員・団体・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34社

入会申込は個人48名、法人3社と順調であるが、退職などによる退会者が上回り、今年度も個人会員1000名を維持できなかった。

なお、地方会員の組織として北海道・東北・中部・北信越・近畿・中四国・九州の7支部がある。また東京都中央区に本部の事務所を置いている。

##### (2) 理事会等の本部活動状況

#### 理事会の活動

開催 1/13, 2/3, 3/10, 4/7, 5/12, 6/9, 7/14, 9/8, 10/13, 11/10, 12/8

理事会は、当協会の活動の原点であり、活動の諸案件が毎回活発に議論され審議・決定されてきた。その議事録は会員メーリングリストで報告し、会報に掲載したとおりである。

#### 研究会等の活動 (詳細は別項)

##### 月例研究会

月例研究会(沼野伸生主査)は、システム監査に関係ある時代の動向を先取りした主題で講演会を設営し、今期は9回で965名(前年比増減なし)、平均参加者数は108名(前年比増減なし)の参加を頂いた。

##### システム監査事例研究会

理論を監査の実践の場に生かすシステム監査事例研究会(畠中道雄主査)のシステム監査実務セミナー1回、及び「事例に学ぶ課題解決セミナー」を1回開催した。内部統制セミナーは開催しなかった。なお、システム監査普及サービスについては打診がなく実施しなかった。

##### システム監査基準研究会

システム監査基準研究会(松枝憲司主査)は、システム監査に関する基準のISO化の動きに対して、ISO化検討及び原案作成支援に参画した。また、基準研メンバーとして力副会長が、パリ会議(5月)、ロンドン会議(9月)に出席した。

##### 個人情報保護監査研究会

個人情報監査研究会(斎藤由紀子主査)は、中堅企業のための「個人情報保護マネジメントシステム実施ハンドブック」の発行を計画し、PMS規程及び様式の策定作業を行った。また、個人情報保護監査サービスの提供について協会HPに公表した。

#### 会報・広報・事務局活動等

定例の活動については、各研究会、分科会を含めて別に具体的報告がある。ここでは特記事項のみをまとめて報告する。

会員に対するコミュニケーションの最大の手段として「日本システム監査人協会報」(竹下和孝主査)を発行している。電子版の会報を12回発行し、利用者の利便性に応じてダウンロード、印刷できるようにしている。同時に会員相互、会員以外のシステム監査に関心を持つもの同士がネット上で意

見交換できる仕掛けも用意している。

また、**法人部会**（小野修一主査）は、定例部会を原則として月1回実施し、会員企業同士でシステム監査ビジネスおよび関連情報に関する情報交換を行うとともに、地方自治体向けおよび民間企業・団体向け情報セキュリティセミナーの企画・案内を行い、1自治体においてセミナーを実施した。

「**CSA利用推進**」（力利則主査）は、CSA・ASAの交流の場として「CSAフォーラム」を4回開催し、毎回約20名の参加者を得て、講師による報告と意見交換を行い、参加者にとって有意義な場の提供ができた。

**事務局**（馬場事務局長、金子副事務局長、斎藤理事）は、引き続きホームページの改善に取り組んだ。また会計（仲主査）と協力し、経費削減に取り組んだ。

### （3）公認システム監査人、システム監査人補の認定

#### ① 認定登録の状況

10年目の公認システム監査人及びシステム監査人補の認定は以下のとおり行うことが出来た。公認システム監査人は春期8名、秋期8名、システム監査人補は春期9名、秋期6名で合計31名の方々の認定が終了した。

その結果、累計では**公認システム監査人が415名、システム監査人補が193名、あわせて総勢608名の資質の継続・維持・向上も担保されたシステム監査人が認定登録**されたことになる。

今回も認定業務では、面接業務（鈴木信夫主査）が審査として重要な役割を担い、東京地区の他に大阪（2回）、広島及び福岡の支部所在都市でも行った。それぞれ原則として土曜日に実施し面接委員は1組2名であたった。

#### ② 認定更新の状況

2004年度、2007年度に認定登録された公認システム監査人及びシステム監査人補の方々の認定更新に際し、公認システム監査人12名、システム監査人補28名の方々が失効となった。その結果、前記①に記載のとおり累計458名の陣容となっている。

2002年度、2003年度、2005年度、2006年度、2008年度に認定登録された公認システム監査人及びシステム監査人補の方々については、この認定更新申請時期は1月末までであり、現在更新認定作業中である。

#### ③ 特別認定講習実施状況

教育研修委員会（鈴木実主査）は、別項の報告のとおり実施機関2社の合計20回延べ30名の講習が実施された。

## 2. 教育研修委員会

本年度も前年同様、特別講習認定機関に委託により次のコースを実施した。

### （1）論文・プレゼンテーションコース（1日コース）

実施回数：東京 5回、大阪 0回 計 5回  
実施時期：2月2回、3月1回、4月1回、9月1回、  
受講者：7名

（前年度実績 8回 受講者 14名）

### （2）システム監査に関する知識コース（2日コース）

実施回数：東京 4回、大阪1回 計5回  
実施時期：2月2回、3月1回、4月1回、6月1回、  
受講者：8名

(前年度実績 13回 受講者 22名)

### (3) 情報システムに関する知識コース

実施回数： 東京 0回、大阪 0回 計 0回  
実施時期：  
受講者： 0名

(前年度実績 2回 受講者 4名)

### (4) 特別講習実施機関による実施回数

- ・ 1日コース5回、2日コース5回 計10回  
受講者延べ 15名  
(前年度実績 1日コース7回、2日コース16回、合計23回、  
受講者延べ 40名)

### (5) コース運営管理について

- ・ 各コースともに採点結果を、事務局で評価した。特に問題の発生はなく、本年度も当委員会でのテストも発生しなかった（再テストは委託研修機関で実施されたため）。

## 3. 会報

### (1) 概要

会報部会では、経費削減（印刷費削減、会員への送付先変更に伴う返送対応の削減）および電子書籍の普及に伴う利便性向上を実現するため、電子版発行に切り替え、1年経過した。

年12回の会報の定期発行（電子版）、および臨時アンケート、アワードを投票の呼びかけなどタイムリーな情報発信ができる体制を整えた。テーマに応じた電子的なアンケートも実施して意見の吸い上げを行い、短期間で会員からのメッセージを頂くこともできた。

さらに、理事によるシステム監査人のエッセイ「めだか」は、監査人ならではの切り口、辛口のコメントを寄せていただいております、もっと外部への意見発信のきっかけにしたいと考えている。会員以外の方も閲覧できる会報記事の閲覧サイト (<http://skansanin.com/saaj/>) は、外部からのコメント投稿も頂いており、すこしずつ会員以外への交流に着手している。

2011年度会報担当委員

竹下和孝（主査）、仲 厚吉、安部晃生、成楽秀、桜井由美子、山田隆、清水恵子、  
片岡学、木村陽一、藤野明夫

当協会の会報は、電子版になっても、特定刊行物として国立国会図書館へ納品され、一般の検索、閲覧に供されている。会報に投函された記事が、監査人の履歴書としても活用されるよう、今後内容の充実を図っていく。

### (2) 2011年に発行した会報の内容

システム監査人のエッセイ「めだか」は、会員であればどなたでも投稿できる。

投稿を促すため匿名（めだかネーム）を採用しているので、重複しないよう、これまでの投稿者が使用した名称を確認して投稿いただきたい。

号・月	めだか（めだかネーム）	主な投稿記事（投稿者の敬称略）
119号 2011.1	保証業務に係る公表文書の調査研究・・監査の一考察 介護保険制度において真に見直されるべき制度上の問題 監査とコーチング PMS 構築の個人情報管理台帳とリスク分析表・・やすくなる	NPOは、なぜパブコメに団体名で投稿しないか 第3回課題解決セミナー開催結果の報告 ITC みやぎ・SAAJ 東北・JISTA 東北ワーク・・開催報告 ニューヨーク便り Facebook をビジネスに活用して旋風を巻き起こす

120号 2011.2	破産出版社の債権者集会 めだかの教室	CSAフォーラム特別編集（1-8回） 月例研報告（カブドットコム証券のIT経営） 支部報告（北信越支部石川県例会報告）
121号 2011.3	システムリスクその計測・管理・ 監査で求められているもの 百貨店のカードシステム めだかの教室2011.3版	CSAフォーラム報告（後半）
122号 2011.4	減災：事業継続監査の観点から 歴史にみるカンサ	九州支部：大分合同セミナー開催報告 被災・避難指示/勧告地域でのとらっシング犯罪
123号 2011.5	セキュリティソフトの更新騒動	西日本支部合同研究会報告 近畿支部3月度定例研究会報告 保証業務に係る調査研究と保証型システム監査の一考察 （1章）
124号 2011.6  (124 号)	データセンターにて思うこと	東日本大震災を体験して 2011年システム監査基準研究会の活動計画と状況報告 第161回月例研究会受講報告 九州支部特別講演会報告 近畿支部126回定例研究会報告 【平成23年度北信越支部総会研究報告】 【東北支部の活動報告】 保証業務に係る公表文書の調査研究と保証型・・・（2章）
125号 2011.7	『金融機関等のシステム監査指 針』利用における一考察	システム監査ISO化の活動について IT AUDITのISO化をすすめる意味 システム監査基準のISO化への懸念 第162回月例研究会受講報告 （東北支部活動報告）山形月例会兼研修会 保証業務に係る公表文書の調査研究と保証型・・・（3章）
126号 2011.8	システム監査への貢献に感謝をこ めて（追悼） 情報システムの安全対策基準の価 値	広報担当からの投稿 — 竹下・藤野論文に寄せて 保証業務に係る公表文書の調査研究と保証型・・・（4章） 第163回月例研究会受講報告】 北信越支部主催 平成23年度 北信越支部福井県例会報告 近畿支部主催 システム監査入門セミナーを開催して
127号 2011.9	オフショア開発と日本の開発力 エンロン和解金	保証業務に係る公表文書の調査研究と保証型・・・（5章） 第164回月例研究会受講報告
128号 2011.10	めだか どじょう	保証業務に係る公表文書の調査研究と保証型・・・（6章） 第165回月例研究会受講報告 近畿支部 事例に学ぶ課題解決セミナー開催報告
129号 2011.11	ネットビジネスとシステム監査	保証業務に係る公表文書の調査研究と保証型・・・（7章） 第18回システム監査実務セミナー開催報告 近畿支部「2011年度研究大会」開催報告 近畿支部「システム監査実践セミナー」開催報告 近畿支部「事例に学ぶ課題解決セミナー」受講感想 平成23年度北信越支部新潟県例会開催報告 南房総市情報セキュリティセミナー実施報告
130号 2011.12	1年の計画評価 歴史にみる監査	第166回月例研究会講演録（金融業界の情報セキュリティ） 第167回月例研究会講演録（BCMSとISO化の進展）

### (3) 2011/2010年の会報アワード（人気めだか、タイムリー、実践的な論文）

2011年会員の投票による選出3点

減災：事業継続監査の観点から（めだか）

東日本大震災を体験して（高橋典子）

保証業務に係る調査研究と保証型システム監査の一考察（榎本吉伸）

2010年会員の投票による選出2点

失敗を通して学んだシステム監査の勘所 / システム監査の専門家 (めだか 同点)  
IT 分野の会計検査 (第 152 回月例研究会) (細野浩一郎)

#### (4) 2011 年の投稿論文

該当なし。

#### 4. 月例研究会

平成 23 年度は、以下の通り年間 9 回の研究会 (前年比増減なし) を実施した。

回目	開催月日/ 場所	テーマ/講師	参加 人数
161	4月26日(火) 総評会館	テーマ:「第17回企業IT動向調査2011(2010年度調査) ～ユーザー企業の現状と課題～」 講師:社団法人日本情報システム・ユーザー協会(JUAS) 常務理事 原田俊彦 氏	95
162	5月31日(火) 総評会館	テーマ:「IFRSプロジェクトをシステム監査する ～一般事業会社を中心として～」 講師:あずさ監査法人IT監査部パートナー 当協会理事 遠藤誠 氏	127
163	6月29日(水) 総評会館	テーマ:「りそなグループにおけるシステム監査(監査実務を中心に)」 講師:りそなホールディングス 内部監査部 田原公正 氏	143
164	7月20日(水) 総評会館	テーマ:「クラウドサービス利用のための情報セキュリティマネジ メントガイドライン」 講師:経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 課長補佐 佐藤 明男 氏	86
165	8月24日(水) 総評会館	テーマ:「医療情報システムの安全管理のための3制度について ～医療情報の利活用のために何をすべきか!～」 講師:一般社団法人医療情報安全管理監査人協会 専務理事 相澤 直行 氏	85
166	9月28日(水) 総評会館	テーマ:「金融機関におけるセキュリティについて」 講師:公益財団法人 金融情報システムセンター 監査安全部 総括主任研究員 松宮伸行 氏	128
167	10月28日(金) 総評会館	テーマ:「BCMS 適合性評価制度の現況と ISO 化の進展」 講師:一般財団法人日本情報経済社会推進協会 情報マネジメント推進センター 副センター長 高取 敏夫 氏	93
168	11月24日(木) 総評会館	テーマ:「サイバー犯罪等の現状と警察の取組」 講師:警察庁生活安全局情報技術犯罪対策課 専門官(対策防犯) 人見 友章 氏	132
169	12月21日(水) 総評会館	テーマ:「量子コンピュータの概要と研究・開発の状況」 講師:NTT先端技術総合研究所 物性科学基礎研究所 量子光物性研究部長 都倉 康弘 氏	76

- 年間の開催回数は9回（前年比増減なし）、総参加者数は965名（前年比増減なし）で、各回の平均参加者数は108名（前年比増減なし）であった。
- 引き続きホットなテーマ、幅広い講師招聘をすすめ、多くの会員等の期待に応えていきたい。
- 参加者の内、当協会の会員以外の方の割合が約37%（前年比2%増）となった。
- 当協会の月例研究会が、協会以外の方々からも引き続き注目され、今年も毎回多くの方々にご参加頂いた。
- 講師の方の所属は、中央官庁が2名、監査法人（当協会会員）が1名、民間企業が2名、諸団体が4名であった。これはほぼ予定通りのバランスであった。
- 総会参加者にアンケート調査を実施した結果、開催日の早期決定の要望が多かったこと受け、開催日の早い段階での決定に努めると共に、決定次第ホームページ、メーリングリストで速報することを徹底した。
- 各支部へ配付している録画ビデオは、各支部主催の研究会等でこれまで以上に積極的に活用されている。
- 引き続き受付に定期的に学生アルバイトを配置し、多くの参加者のスムーズな受付業務を心がけた。

## 5. 法人部会

### (1) 法人正会員 34社（平成23年末現在）

入会 次の3社

- ・有限会社 IDLマネジメントシステムズ
- ・株式会社 DTS
- ・他 1社

退会 5社

### (2) 活動内容

- ①定例部会を、原則、月1回開催した。
- ②法人正会員の増強を図るべく、次のところに入会案内のDMを送付した。
  - ・平成23年度システム監査企業台帳登録企業
- ③「自治体向け情報セキュリティセミナー」の内容を見直し、23年度版として案内した。
  - ・セミナー案内のDMを、全国都道府県、関東各都県の市以上、および東京都23特別区の自治体に送付した。
  - ・当協会のWebサイトで広報活動を行った。
- ④千葉県南房総市様からセミナー開催の依頼をいただき、法人会員企業が講師になって、セミナーを実施した（2011/9）。
- ⑤「民間企業・団体向け情報セキュリティセミナー」の内容を見直し、当協会のWebサイトでの広報、FISA（情報システム・ユーザ会連盟）主催のシステム監査講演会（2011/10開催）での案内チラシの配布を行った。
- ⑥会員同士のシステム監査の普及・ビジネス化についての情報交換を行った。BCP（事業継続計画）に引き続き、クラウドコンピューティングにおけるセキュリティをテーマとして、公式に発表されているガイドラインをとり上げ、読合せ、情報・意見交換を行った。

## 6. CSA利用推進

### (1) 活動の概要

- ・CSA利用推進の取組みは本年度で6年目を迎えた。本年度は、今までと同様にCSAのフェ

- イスTOフェイスの相互研鑽、情報共有、議論の場としてCSAフォーラムを年3回開催した。
- ・ CSAフォーラムは、CSA（ASA含む）百数十名の事前登録者を対象に、第12回を3月（震災のため延期）→6月、第13回を9月、第14回を11月に開催した。
  - ・ 各回20名程度の参加者が集まり、講師による実践的なテーマの報告と時間を掛けた質疑応答による参加者との自由な意見交換により、有益な場の提供とフェイスTOフェイスの交流が進んだ。
  - ・ CSAフォーラム以外のCSA利用推進Gの会合やCSAパンフレット、CSA認定カード、CSAを入札条件に入れる依頼文の周知、CSA関連サイトの充実等についてほとんど活動できなかったことが反省であり課題である。

## (2) 活動の目的

- ・ 「CSAのプレゼンスを高める。CSAの社会的な評価や価値を高める。CSAの社会的な認知度を上げる。CSAになって良かったと思ってもらえる。CSA認定の付加価値を高める。CSAが社会的に認められ活動がしやすくなる」という活動目的は当初から掲げている。
- ・ 今年度は前年度同様、CSAフォーラムの開催によりCSA同志の交流と輪を広げ、相互連携等を行うことを活動目標とした。

## (3) CSAフォーラム活動

- ・ CSA認定取得者の相互研鑽、情報共有、フェイスTOフェイスの意見交換の場として、“CSAフォーラム”を開催している。当初の事前登録者約100名に対して、“CSAフォーラム”の開催案内を発信して、各回とも20名弱の参加者を得ることができた。今後は参加者をもう少し増やしたいため、事前登録者の追加を諮りたい。今年の開催内容は次の表の通りであった。

月日	開催回	テーマ	報告者	概要
1/26	第12回	「今までの振り返りと今後の計画」	CSAフォーラム事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今での活動の総括と今後の進め方</li> <li>・ システム監査人としてのスキル維持・向上策</li> </ul>
3/24 → 6/2	第13回	「国際会計基準(IFRS)のシステム対応の落とし穴ーあなたの知らない意外な盲点ー」	田淵隆明氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際会計基準(IFRS)適用に関わるシステム設計上の落とし穴</li> <li>・ コンバージェンスに関わるシステム設計上の落とし穴</li> </ul>
9/2	第14回	「IT-AUDITのISO化進捗状況と意見交換」	力 利則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ システム監査/管理基準のISO化の進捗状況</li> <li>・ 日本をエディターとしたIT-AUDITのNWIの概要</li> </ul>
11/7	第15回	「日本ユニシスにおけるシステム監査（内部監査）の取り組み事例の紹介」	荻田朝子氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内部監査業務の品質向上と被監査部門の負荷軽減のための取り組み事例</li> </ul>

## 7. システム監査事例研究会

(1) 研究会メンバー : 113名 (2011年12月現在)

### (2) 月例研究会開催

定例会 毎月第一水曜日 18:30~20:30

12回開催 延べ出席者数 108名

## 内容

- ・事例研主催セミナーの開催方式見直し
  - ・実践セミナー等の教材見直し方針の決定と改訂実施
- |     |     |     |                        |
|-----|-----|-----|------------------------|
| 1月  | 5日  | 7名  | 実務セミナー・課題解決セミナー開催方式の検討 |
| 2月  | 2日  | 12名 | 年度計画の具体化               |
| 3月  | 2日  | 10名 | c社セミナー教材の見直し方針決定       |
| 4月  | 6日  | 11名 | c社セミナー教材の見直し作業開始       |
| 5月  | 11日 | 9名  | 事業継続対策の効果評価、c社セミナー教材   |
| 6月  | 1日  | 6名  | 電力不足対策情報交換、c社セミナー教材    |
| 7月  | 6日  | 8名  | c社セミナー教材改訂作業           |
| 8月  | 3日  | 10名 | c社講師用資料の改訂             |
| 9月  | 7日  | 7名  | 第18回実務セミナー前半振り返り       |
| 10月 | 5日  | 8名  | 第18回実務セミナー後半振り返り       |
| 11月 | 2日  | 8名  | 第4回課題解決セミナー開催準備        |
| 12月 | 7日  | 12名 | 年間活動報告                 |

### (3) システム監査サービス

監査依頼の打診は全くなかった。

事例研の活動の源泉であるため、何とか依頼案件を見つけたい。

### (4) システム監査実務・実践セミナー

- ・本年は4日間コースを1回開催し、1996年から実践・実務セミナーは通算37回の企画実績となった。

- ・実務セミナー4日間コースは、2002年から開始し通算18回目となり、公認システム監査人の教育制度の一環として定着してきている。

#### ①第36回（第17回実務セミナー4日間コース）

日時：1月29日

受講者が少なく、催行を見送った。

#### ②第37回（第18回実務セミナー4日間コース）

日時：8月27日 10:00～ 28日 15:00、

9月10日 10:00～ 11日 15:00

場所：東京晴海 晴海グランドホテル

参加者：受講生12名、講師4名、講師補3名

### (5) 内部統制セミナー

今年度は開催されなかった。

### (6) 事例に学ぶ課題解決セミナー（半日コース・簡易演習付）

- ①個別企業からの依頼があったものの、震災の影響などで中止になった。

#### ②第4回

日時：12月3日 13:00～17:00

場所：東京都中央区（協会事務所）

参加者：受講生14名、講師2名

## 8. 情報セキュリティ監査研究会

### (1) 平成23年研究会研究項目

- ①情報セキュリティ監査基準の監査に関する情報・ノウハウの共有
- ②情報セキュリティ監査基準を利用する「基準ツール」の充実を図る

『情報セキュリティ監査のためのリスクの洗い出し監査ツールの利用』の一般化、普及

## (2) 活動の経過

23年には主査の事情で十分な活動が出来なかった。その為、上記の研究を進めることが出来ず、ツールの作成までの成果にいたらなかった。「リスクの洗い出し」に関しては、クラウドサービスの利活用についてのセキュリティリスクについても検討が必要であり、その資料を読み始めたが、中断している。

“情報セキュリティ監査を効果的にはどうやるか”は情報取扱いのフロー(\*)に基づき“リスクを洗い出す”ことを基本として考えている。このリスクアセスメントの手法を中心に考えることは必要であり重要であるため、これは継続的なテーマとして検討を進めたい。

(\*) 業務フローとは、オペレーションフロー、システムフロー、ワークフローなどをいう。

ノウハウの共有として、赤本に掲載した「基準ツール」の充実を図ることと、当研究会以外で試行してもらうことを意識する。

## 9. システム監査基準研究会

### (1) 研究項目

- ① SAAJ システム管理基準体系

### (2) 研究会項目

- 1) IT Audit (ISO30120) のWD作成支援

システム監査に関する基準のISO化の動きに対して、基準研メンバーによる検討や原案作成支援に参画した。また基準研より力副会長が、以下の国際会議に出席した。

- ①2011年5月：パリ会議

- ②2011年9月：ロンドン会議

- 2) 各種開発環境・手法における監査のポイント

- ①「Webシステムにおける監査のポイント」(開発・利用)

- ②「BCMIにおける監査のポイント」

- ③「プロジェクトマネジメント監査のポイント」

年度途中より、上記ISO化検討作業を優先して行うこととしたため会全体としては中断している。

- 3) 森北出版より「情報システム監査実践マニュアル」「IT統制監査実践マニュアル」を出版した。

なお出版に関する印税は編著者の好意により全額協会に寄付し、1)の国際会議への参加費用に充当させていただいた。

### (3) 定例研究会

・定例研究会は原則月1回であったが、ISO化に係る検討会は随時開催した。(月2回ほど)

## 10. 個人情報保護監査研究会

### (1) 2011年の活動状況

2011年の当研究会の取り組みは、以下のとおりである。

1. 「個人情報保護マネジメントシステム実践マニュアル(以下PMS実践マニュアル)」の販売継続とともに、別途、中堅企業のための「個人情報保護マネジメントシステム実施ハンドブック(以下PMS実施ハンドブック)」の発行を計画し、規程や様式を策定するなどの活動を行った。
2. 監査チェックリストなどの監査手順を整備し、個人情報保護監査サービスの提供について協会ホームページに公表した。
3. 「個人情報保護」をシステム管理基準の共通業務のコントロールに詳細化して追補する案を策定した。

## (2) 2011 年の研究会開催実績

月日	開催回	テーマ
1/26	第 1 回	・「PMS 実践マニュアル」： 是正処置・予防処置（藤澤）、マネジメントシステムの統合化（担当：吉谷）
3/22	第 2 回	・「PMS 実践マニュアル」： 文書化（斎藤）、運用体制（柴田）
4/22	第 3 回	・「PMS 実践マニュアル」： 特定とリスク分析（藤澤）、規程および様式（斎藤）
5/30	第 4 回	・「PMS 実践マニュアル」：A 5 版および電子版を検討する。（斎藤） ・システム管理基準に「個人情報保護」追補案策定（仲）
6/27	第 5 回	・「PMS 実践マニュアル」で策定した規程および様式をコンサルタント先の事業者 2 社で使用開始（藤澤、斎藤）
8/3	第 6 回	・「PMS 実施ハンドブック」に名称改定 「PMS 実践マニュアル」とは別形式で解説文を策定することに決定
8/26	第 7 回	・システム管理基準の個人情報保護コントロール追補案（仲） ・MSS (Management System Standard) のファイナルドラフト（吉谷）
9/22	第 8 回	・「PMS 実施ハンドブック」： 規程は、「個人情報取扱規程」、「安全管理規程」のみにまとめる案検討（斎藤）
10/31	第 9 回	・「個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」解説（2011 年改訂）の確認と、「PMS 実施ハンドブック」への反映について
11/27 ～ 11/29	第 10 回	・合宿（参加者 4 名）、場所：強羅「みやぎの」 「PMS 実施ハンドブック」掲載の「個人情報取扱規程」、「安全管理規程」の内容および様式の確認、追加作業 ・電子版を視野に入れて、サーバー認証機能付を検討
12/22	第 11 回	・「PMS 実施ハンドブック」： 「個人情報取扱規程」の章建てを、JIS 項番に統一（斎藤） ・認証付サーバーの申込経過報告（斎藤）

## II. 北海道支部

### 1. 第10回支部総会実施

日時：12月9日(金) 18:30～19:30

内容：2011年活動報告, 2012年活動計画,  
2012年役員選出, 2012年研究会・勉強会計画,  
2011年会計報告および2012年会計予算について

参加者：参加5名、委任10名

### 2. 定例研究会・勉強会実施

#### (1) 1月研究会

日時：1月24日(月)18:30～20:30

テーマ：「カブドットコム証券のIT経営」

－第159回研究会のビデオ上映とディスカッション－

参加者：9名

#### (2) 2月研究会

日時：2月28日(月) 18:30～20:30

テーマ：「シリアスゲームで学ぶ心理分析と競争戦略」

－研究発表とディスカッション－

発表者：渡辺 一夫 氏

参加者：12名

#### (3) 3月研究会

日時：3月28日(月) 18:30～20:30

テーマ：「大規模システム開発におけるプロジェクト・マネジメントの実際」

－第158回研究会のビデオ上映とディスカッション－

参加者：6名

#### (4) 4月研究会

日時：4月25日(月) 18:30～20:30

テーマ：「情報セキュリティ検証業務

～「日本公認会計士協会 IT 委員会研究報告第39号」の解説～」

－第157回研究会のビデオ上映とディスカッション－

参加者：7名

#### (5) 5月研究会

日時：5月30日(金) 18:30～20:30

テーマ：「新たな情報通信技術戦略について」

－第160回研究会のビデオ上映とディスカッション－

参加者：8名

#### (6) 6月研究会

日時：6月27日(月) 18:30～20:30

テーマ：「情報セキュリティ再点検」

－研究発表とディスカッション－

発表者：谷口 泰正 氏

参加者：6名

#### (7) 7月研究会

日時：7月29日(月) 18:30～20:30

テーマ：「東証株式売買システム(arrowhead)開発と稼働後の状況

(開発プロセスの改善と新しいビジネスモデル出現)」

参加者:7名

(8) 8月研究会

日時:8月29日(月) 18:30~20:30

テーマ:「IT Auditing for IFRS Project IFRS プロジェクトをシステム監査する  
一般事業会社を中心として」  
—第162回研究会のビデオ上映とディスカッション—

参加者:4名

(9) 9月研究会

日時:9月26日(水) 18:30~20:30

テーマ:「①スマートフォンアプリ開発について Android、iPhone、WindowsPhone、  
BlackBerry の4大プラットフォームを考察する  
②レイヤ1から考える事業継続と、システム監査」  
—研究発表とディスカッション—

発表者:①本多 鉄兵 氏 ②菊地 圭

参加者:4名

(10) 10月研究会

日時:10月24日(月) 18:30~20:30

テーマ:「医療情報システムの安全管理のための3制度について  
～医療情報の利活用のために何をすべきか～」  
—第165回研究会のビデオ上映とディスカッション—

参加者:6名

(11) 11月研究会

日時:11月27日(月) 18:30~20:30

テーマ:「今度こそ分かるオブジェクト指向」  
—研究発表とディスカッション—

発表者:大舘 広之 氏

参加者:7名

### 3. 広報活動

支部活動について対外的に広報、および支部員勧誘を行った。

- ・他団体との交流:北海道ITコーディネータ協議会、日本ITストラテジスト協会北海道支部、  
および社団法人 中小企業診断協会北海道支部との講演会共催、勉強会の相互開放
- ・支部員の変動:2010年度 個人会員24名、法人会員4名  
2011年度 個人会員23名、法人会員5名

支部活動への参加:上記以外に非会員8名、他支部3名および本部1名参加  
公認システム監査人1名、システム監査人補4名

### 4. メーリング・リストによる連絡

- ・支部メーリング・リストにより、支部員間の連絡および情報交換を実施している。

### 5. ホームページによる情報発信

- ・協会のホームページの支部のコーナーに、北海道支部の情報を記載している。

## Ⅲ. 東北支部

平成15年6月28日に設立した東北支部は、平成23年度の活動として、会員の増加、システム監査の普及、支部のPRなど、計画に基づいて以下のとおり活動した。ただし、3月11日に発生した東日本大震災により5月末まで活動を休止し、6月より活動を再開した。

## 1. 第9回東北支部総会

- ・平成22年12月18日(土) 13:30～17:00 エル・ソーラ仙台「研修室1」  
出席者:会員数35名 出席者12名(委任状23名)
- ・議題:報告事項1 平成22年度事業活動  
報告事項2 平成22年度収支報告  
第1号議案 平成23年度活動計画  
第2号議案 平成23年度予算計画  
第3号議案 平成23年度役員選任  
支部長 :高橋 典子 副支部長:佐藤賢一、横倉正教  
研究会 :高橋壮太、小野寺司、小野寺学  
広報 :櫻谷昭慶、館田あゆみ 会計 :佐藤雅英  
監事 :成田由加里 顧問 :鈴木 実
- ・フリーディスカッション(総会終了後 14:00～14:55)  
支部活動の今後のあり方についてフリーディスカッションを行った。
- ・講演会(15:00～17:00)  
「パソコンのリサイクルと情報セキュリティ」  
株式会社東北3Rシステムズ 漆畑英司氏

## 2. セミナー・ワークショップ

- ・ITCみやぎ・SAAJ東北、JISTA東北ワークショップ2011 参加者:37名  
日程:平成23年10月22日(土) 9時30分～18時30分  
場所:仙台市青年文化センター エッグ・ホール  
主催:日本システム監査人協会東北支部  
ITコーディネータ宮城会(ITCみやぎ)  
日本ITストラテジスト協会東北支部(JISTA東北)  
後援:東北経済産業局、宮城県、NPO法人ITコーディネータ協会  
内容:  
09:30-09:50 「ご挨拶と経済産業省の施策説明」  
東北経済産業局 情報産業支援室長補佐 村田久明氏  
09:50-11:40 「オンリーワンのものづくりを可能にする原点思考と技術管理システム」  
本田技研工業株式会社 社友(元常務取締役) 石津谷彰氏  
12:40-14:40 「医療情報システムの安全管理のための3制度について」  
～医療情報の利活用のために何をすべきか!～  
一般財団法人 医療情報システム開発センター医療情報安全管理推進部  
部長 相澤直行氏  
14:40-16:35 「マーケティングコミュニケーションの視点で考えるネット通販における  
広告表示コンプライアンスと震災への取り組み」  
株式会社フィデス 代表取締役 久保京子氏  
16:35-18:25 「ITで日本を元気に!」  
トライポッドワークス株式会社 代表取締役社長 佐々木賢一氏

## 3. 定例研究会及び役員会

### (1) 2月例会

- ・平成23年 2月 5日(土) 14:00～17:00 カメイ仙台中央ビル 会議室
- ・内容 報告、連絡事項  
研究会 今年度の活動予定について  
第1回スプレッドシート統制研究会

- (2) 4月例会 (中止)
- ・平成23年 4月16日 (土)
  - 福島開催予定だったが、東日本大震災の影響 (会議室使用不可、JR運休) により中止
- (3) 6月 山形合宿
- ・平成21年 平成22年 6月26日 (土) 13:00~17:00
  - ・山形県寒河江市 ホテルサンチェリー
  - ・内容 そば打ち体験
  - 連絡事項
  - 研究会 ディベート演習 (マネジメント信仰が会社を滅ぼす?)
- (4) 8月例会
- ・平成23年 8月20日 (土) 14:00~17:00 カメイ仙台中央ビル 会議室
  - ・内容 報告、連絡事項
  - ワークショップについての検討
  - 研究会 システム監査シミュレーション
- (5) 11月役員会
- ・平成23年11月 2日 (水) 18:30~20:00 情報化研修室 (アエル)
  - ・議題
    - ・支部総会議案書の検討
    - ・支部総会案内及び講演の検討

## 5. 広報宣伝活動

- ・ITCみやぎ・SAAJ東北・JSAG東北ワークショップにおいて、システム監査の普及および支部活動の宣伝を行った。

## IV. 北信越支部

### 1. 本年度の目標

- ・研究チーム継続によるシステム監査の技術基盤の向上。
  - ー システム監査研究会
  - ー 情報セキュリティ監査研究会
- ・本部、他支部との交流による知識、技術力の向上。
- ・プレゼンテーション能力の向上。
- ・インターネットを活用した組織コミュニケーションの向上

### 2. 活動報告

(1) 北信越支部年度総会 2011年5月7日 (土) 富山国際会議場 (富山市)

1. 参加: 14名

2. 内容;

①年度総会・昨年度行事報告と今年度行事計画について

- ・昨年度会計報告と今年度予算について

- ・支部旅費規程の見直しについて

②本部総会報告

③報告「事業戦略と評価方法について」 森 広志 氏

④報告「クラウド・コンピューティングの情報セキュリティ」 宮本 茂明

⑤研究会ビデオの貸出し

(2) 福井県例会 2011年6月11日 (土) アオッサ AOSSA (福井市)

1. 参加: 12名



### 3. 活動内容

#### (1) 例会

##### ①SAAJ中部支部総会/第1回例会

(1/22 14:00-17:00 名古屋市(東桜第1ビル) 参加12名)

- ・中部支部総会 (H22年度活動報告、本年度活動計画、体制など)
- ・昨年度11月開催の「西日本支部合同研究会」  
の会報掲載現行の確認及び参加報告
- ・意見交換
  - ・会員の勧誘、例会参加増加検討など

##### ②第2回例会

(3/12 14:00-17:00 名古屋市(東桜第1ビル) 参加13名)

- ・事務連絡等  
例会開催場所の確認  
日本ストラテジスト協会(JISTA)全国大会の開催概要案内  
総会参加報告(総会、講演会、その他)
- ・講演1 「産業界におけるEDI標準化の動静」 講師：高間氏  
内容：次世代EDI推進協議会(JEDIC)を中心に進められている  
企業の情報連携基盤の進捗状況と課題、業界横断EDI仕様の難題、  
今年度から開始される「EDIソリューション認定制度」等について
- ・講演2 「SOAを単純に考える」 講師：関口氏  
内容：SOA(サービス指向アーキテクチャ)の定義、導入失敗要因、  
SOAで効果を上げるためのポイント。

##### ③第3回例会

(5/14 14:00-17:00 大垣市(ソフトピアジャパンセンタービル10F 会議室1  
参加16名)

- ・事務連絡等  
「日本ITストラテジスト協会(JISTA)15周年記念行事)について  
中国(深セン)との交流について  
状況を 原氏(国際取引研究・国際交流 担当)より報告。  
今年度合宿について
- ・講演1 「建設会社のITマネジメントについて」 講師：大友氏
- ・講演2 「クラウドコンピューティングの現状と経産省施策」  
講師：高間氏

##### ④第4回例会

(7/9 14:00-17:00 名古屋市(東桜第1ビル) 参加16名)

- ・事務連絡等  
日本ITストラテジスト協会全国大会2011の案内&後援について  
合宿の検討 日程、場所、テーマなど
- ・ご講演：『国際会計基準(IFRS)のシステム対応の落とし穴  
――あなたの知らない意外な盲点――』  
講師 近畿支部システム監査法制化研究会座長 田淵隆明氏

##### ⑤第5回例会

(9/10 14:00-17:00 浜松市(浜松市福祉交流センター 22会議室) 参加11名)

- ・事務連絡等

日本ITストラテジスト協会全国大会2011の案内&後援について  
合宿の検討 日程、場所、テーマなど

- ・ご講演1：「標的型サイバー攻撃(新しいタイプの攻撃)について」澤田氏
- ・ご講演2：「SIベンダーの提供する要件定義手法の紹介」栗山氏

## (2) イベント

- ・SAAJ中部支部/JISTA中部支部合同合宿

(11/5 13:30-11/6 12:00 あいち健康プラザ 参加13名)

合宿テーマ；「BCPの観点を意識したシステム監査項目一覧の作成」

今回の被災を通じてコンピュータシステム(特に基幹)について、  
BCPの視点で見直し・注意すべき点について検討する。

合宿を通じ、上記について一覧を作成する。

今回、会員で自らOUT PUTすることを狙う。

スケジュール

<11月5日>

13:15～13:30 受付、準備

13:30～14:30 開会挨拶、事務連絡、

本年度活動報告、来年度計画 (SAAJ、JSAG)

14:40～14:50 合宿テーマについて、進め方説明

14:50～15:20 JISTA全国大会(大垣)での検討ポイントを説明 原氏

15:30～16:10 建設業のBCP：SAAJ中部) SAAJ中部支部会員 大友氏

16:10～16:30 社会インフラ事業者の情報処理部門のBCP見直し活動

事例紹介:SAAJ中部会員 田中氏

16:40～17:50 参加メンバーによる検討

本日の事例、自社、顧客、一般情報で、震災後、  
BCPの観点でシステムに対し、どの様な対応を  
検討/実施(チェック)したか、対策を着手したか  
等を情報共有する。

17:50～21:00 事務連絡、夕食、懇親会

21:30～ 二次会 (宿泊施設の和室)

<11月6日>

08:00～09:00 朝食

09:00～11:00 検討の続き、一覧の作成

11:10～11:45 合宿成果発表又は確認

・参加メンバーによる確認

11:45～12:00 閉会挨拶、事務連絡、撤収

12:00～13:00 昼食、解散

- ・西日本支部合同研究会への発表者派遣

「BCPの観点を意識したシステム監査項目の検討

-SAAJ中部支部/JISTA中部との共同合宿での活動報告-」 澤田裕也氏

## VI. 近畿支部

### 1. 支部体制 (敬称略)

#### (1) 支部役員

支部理事 (支部長) 吉田 博一 (留任)

支部理事（副支部長） 関西 康一郎（留任）  
支部理事（会計） 片岡 学（留任）  
支部担当役員（副支部長） 林 裕正（新任）  
支部担当役員 是松 徹（新任）  
支部担当役員（コンプライアンスのシステム監査研究会、クラウド研究会）  
雑賀 努（留任）  
支部担当役員（システム監査法制化研究会） 田淵 隆明（留任）  
支部担当役員（BCP研究会） 荒町 弘（新任）  
支部担当役員（セミナーWG） 三橋 潤（留任）  
支部担当役員（支部サイトWG） 金子 力造（留任）  
支部監事 福德 泰司（留任）

(2) 支部参与

木村 安寿、中谷 正明（3月ご逝去）、安本 哲之助（全員、留任）

(3) サポーター

小宮 弘信、寺下 厚二、岡谷 亨、鈴木 章彦、松井 秀雄、神尾 博、広瀬 克之、伊藤 一彦、深田 哲信、後藤 知久、永田 淳次、大塚 一志、吉谷 尚雄（順不同 全員、留任）のサポーター各位の協力を得て、支部活動を行いました。

2. 近畿支部総会 1月21日（金）大阪大学中之島センター

出席者：22名、委任状26名 会員総数181名

議題： 1) 支部規約改正について

2) 支部役員の選出について

3) 平成22年度事業報告と決算、平成23年度事業計画と予算について

※全て異議なく承認された

3. 支部役員会・サポーター会議

(1) 第1回支部役員会 3月22日（火）常翔学園 大阪センター305

支部活動の実績と研究大会等今後の予定について、確認した。

(2) 第2回支部役員会 6月8日（水）ドーンセンター 小会議室5

支部活動の実績と研究大会等今後の予定について、確認した。

(3) 第3回支部役員会 10月5日（火）常翔学園 大阪センター305

次の事項を検討した。

①役員改選、次年度の支部活動方針について

②研究会、WGの活動状況報告について

(4) 支部役員懇談会 11月30日（水）

(5) 第1回サポーター会議 7月14日（木）常翔学園 大阪センター 305

支部活動について、現在の運営状況と今後の予定や課題等について確認を行った。

(6) 第2回サポーター会議 12月17日（土）常翔学園 大阪センター 302

支部役員選出、平成23年度の事業報告、平成24年度の事業計画、支部規約改正について、検討した。

4. 定例研究会活動（原則、奇数月 第3金曜日 講師による発表形式）

(1) 第124回定例研究会 1月21日（金）

テーマ：「中堅企業における経営に資するシステム監査考

－ i 社システム監査サービスの導入現場からの提言－」

講師：i社の窓口担当者 出席者：40名

(2) 第125回定例研究会 3月18日（金）

テーマ：「このままでいいのか！情報セキュリティ」

- 講師：安尾 勝彦氏 出席者：51名
- (3) 第126回定例研究会 5月20日(金)  
 テーマ：「国際会計基準(IFRS)のシステム対応の落とし穴ーあなたの知らない意外な盲点ー」  
 講師：田淵 隆明氏 出席者：52名
- (4) 第127回定例研究会 7月15日(金)  
 テーマ：「中国の最新IT事情」  
 講師：谷口 直之氏 出席者：43名
- (5) 第128回定例研究会 9月16日(金)  
 テーマ：「FISC安全対策基準の改訂とシステム監査指針改訂に向けた調査について」  
 講師：市川 千尋氏 出席者：31名
- (6) 第129回定例研究会 11月18日(金)  
 テーマ：「コンシューマライゼーションが経営に及ぼす影響」  
 講師：永田 淳次氏 出席者：28名
- (7) 第130回定例研究会(ISACA大阪支部との合同講演会) 12月17日(土)  
 テーマ：「スマートフォンを取り巻くセキュリティ動向」  
 講師：加賀谷 伸一郎氏 出席者：68名
- (8) 西日本支部合同研究会  
 (中部支部・北信越支部・近畿支部・中四国支部・九州支部)  
 日時：11月19日(土) 13:00~17:00  
 場所：岡山国際交流センター(岡山県岡山市) イベントホール(8階)  
 テーマ：「重要インフラ情報システムとシステム監査」  
 近畿支部からは、荒町 弘氏が「BCP研究会活動報告(ITを中心とするBCP策定支援の実践)」について発表した。
- (9) 2011年度研究大会  
 ①日時：平成23年8月20日(土) 10:00~17:00 研究大会  
 17:30~19:30 懇親会  
 ②場所：大阪大学中之島センター 10階 佐治敬三メモリアルホール  
 ③大会テーマ：「サステイナブル社会に貢献するシステム監査の実現を目指して」  
 ④プログラム
- 【研究会・WG報告】**  
 10:10 「コンプライアンスのシステム監査研究会報告」  
 10:50 「システム監査法制化研究会報告」  
 11:30 「BCP研究会報告」  
 13:10 「クラウドコンピューティングのシステム監査研究会報告」  
 13:50 「システム監査セミナーWG報告」  
 14:20 「近畿支部サイトWG報告」
- 【論文発表】**  
 15:00 「ASP・SaaSに対する情報セキュリティ監査事例の考察」  
 佐々木 志津香氏、古江 健一氏、鬼松 嵩氏  
 15:30 「多様な基準によるシステム監査の可能性」 吉田 博一氏  
 16:30 「自治体のクラウドコンピューティングを活用した共同  
 アウトソーシングの企画業務に関するシステム監査」 津田 博氏
- 【出席者】** 110名  
**【懇親会】** 17:30~19:30 懇親会  
 第1回打ち合わせ 3月 1日(火)

- 第2回打ち合わせ 4月 5日 (火)
- 第3回打ち合わせ 5月10日 (火)
- 第4回打ち合わせ 6月 1日 (水)
- 第5回打ち合わせ 6月29日 (水)
- 第6回打ち合わせ 7月26日 (火)
- 第7回打ち合わせ 8月 8日 (月)
- 第8回打ち合わせ 9月 6日 (火)

#### 5. システム監査勉強会(原則偶数月 第3土曜日 本部月例研究会ビデオ視聴・討議)

- (1) 第27回 2月19日(土) 出席者：37名
    - ①第158回「大規模システム開発におけるプロジェクト・マネジメントの実際」
    - ②第160回「新たな情報通信技術戦略について」
  - (2) 第28回 4月16日(土) 出席者：36名
    - ①SAAJ本部2011継続教育セミナー  
「東証株式売買システム 開発と稼働後の状況」
  - (3) 第29回 10月15日(土) 出席者：26名
    - ①第162回「IT Auditing for IFRS Project」
    - ②第165回「医療情報システムの安全管理のための3制度について  
～医療上の利活用のために何をすべきか!～」
- ※：6月はISACAの行事と重なったため、中止

#### 6. セミナー活動

「システム監査を学ぶ3つのコース」として以下のセミナーを開催した。受講者数は昨年度より低調で、来年度は集客力アップ方法を検討する必要あり。

##### (1) システム監査実践セミナー

平成23年度のシステム監査実践セミナー2日間コース(近畿支部主催)は、近畿支部としては新たな教材の「d社」で開催した。

日時： 9月23日(金・祝)～9月24日(土) 受講者数：6名  
1日目 13:00～21:00 2日目 9:00～16:00

場所： 第1サニーストーンホテル

##### (2) システム監査入門セミナー

昨年と同じ教材で、1日コースとして開催した。

日時： 6月25日(土) 10:00～17:00 受講者数：5名

場所： 常翔学園大阪センター

##### (3) システム監査課題解決セミナー

昨年は本部事例研の協力の下で開催したが、平成23年度は近畿支部主体でセミナーを開催した。

日時： 7月23日(土) 13:00～17:00 参加者：8名

場所： 常翔学園大阪センター

#### 7. 研究会・WG活動

次の4研究会、2WGを設置し、支部会員により活発な研究会活動やセミナー等の準備作業を行った。

##### (1) コンプライアンスのシステム監査研究会

システム監査学会と共同プロジェクトとして実施した。メーカーの部門と業務の観点から関連法令を分析し、「部門・業務別コンプライアンスMAP」を作成した。このMAPから重要な法的リスクを抽出し、現行の「システム管理基準」、「システム監査基準」に対するサブセットとしてのコンプライアンスの「システム管理基準」、「システム監査基準」を検討している。

主査：雑賀 努 副主査：吉田 博一 研究会参加者：10名

- 第1回 1月 6日 (木)
- 第2回 1月28日 (金)
- 第3回 2月 4日 (金)
- 第4回 4月22日 (金)
- 第5回 5月11日 (火)
- 第6回 7月13日 (水)
- 第7回 8月19日 (金)
- 第8回 9月20日 (火)

なお、6月10日(金)にシステム監査学会の研究大会にて中間報告を実施しています。

## (2) システム監査法制化研究会

諸外国でのシステム監査の法制化の実情、及び、パッケージ・ソフトウェアへの製造物責任法の適用の有無等の調査を行った。成果を西日本合同研究会で発表した。

主査：田淵 隆明 研究会参加者：6名

- 第1回 2月5日 (金)
- 第2回 3月12日 (金)
- 第3回 5月14日 (金)
- 第4回 6月11日 (金)
- 第5回 7月9日 (金)
- 第6回 9月3日 (金)

## (3) BCP研究会

BCP研究会では協力企業であるT社との共同研究ということでT社のIT-BCP策定支援を実施した。BCP策定支援をより実践的なものとするため、2月にはT社の電算室を視察しITの運用管理面の点検も行った。

T社と目標設定したIT-BCPの基盤を整備するという段階までは到達でき、BCP研究会として目標設定したBCPの知識や理解を深め、リスクマネジメントに関する意見交換を行うこと等についても、T社との共同作業を通じて、より具体的に実施することが出来た。

主査：荒町 弘 副主査：川端 純一 研究会参加者：11名

- 第1回 1月14日 (金)
- 第2回 2月26日 (土) T社様の事業所にて実施し電算室を視察
- 第3回 4月 8日 (金)
- 第4回 5月13日 (金)
- 第5回 6月24日 (金)
- 第6回 8月 5日 (金)
- 第7回 9月 9日 (金)
- 第8回 10月14日 (金)
- 第9回 11月18日 (金)
- 第10回 12月 9日 (金)

## (4) クラウド研究会

2月の研究会にて中間報告をまとめ、その結果を6月のシステム監査学会にて発表した。その後、研究の方向性を議論した。

主査：松田 貴典 副主査：雑賀 努 深瀬 仁 (システム監査学会)

研究会参加者：24名

- 第1回 2月3日 (木)

研究会として：中間のまとめと今後の方向性を検討

第2回 5月18日(水)

6月10日(金)開催のシステム監査学会の研究大会前の確認会を実施

第3回 6月23日(木)

クラウド研の今後の進め方の検討 ～何を題材とするか～

⇒ システム管理基準をもとにクラウド版を検討することに決定

第4回 8月5日(金)

8月20日の研究大会に向けて、発表資料のすり合わせを実施。

第5回 10月27日(木)

システム管理基準(クラウド版)の作成

①適用先的前提条件、クラウド版作成にあたっての作業手順を検討

第6回 12月1日(木)

システム管理基準(クラウド版)の作成

②情報戦略、企画フェーズへの適用(案)の検討会

## (5) セミナーWG

主査:三橋 潤 WG参加者:8名

第1回 2月22日(火)

スタッフ5名体制で開催し、平成23年度のセミナー活動概要計画、スタッフの構成等について打合せした。

入門セミナー 6月25日(土) 課題解決セミナー 7月23日(土)

実践セミナー 9月23日(金・祝)、24日(日)を仮決め。

第2回 3月15日(火)

スタッフが3名増えて8名体制となる。セミナーの配布用チラシ案、課題解決セミナー教材について打合せ実施。

第3回 4月14日(木)

ロールプレイ配役、役割分担やセミナー関係の備品調達、セミナー開催案内の広報活動について討議

第4回 5月19日(木)

入門セミナーの教材に沿って内容のレビューを行い、教材をほぼ確定。

第5回 6月11日(土)

入門セミナーの座学のレビューおよび予行演習実施。

第6回 7月5日(火)

入門セミナーの反省と課題解決セミナーの確認。

第7回 7月16日(土)

課題解決セミナーの予行演習実施。

第8回 8月4日(木)

実践セミナー教材打合せとロールプレイ配役決定。

第9回 8月27日(土)

実践セミナーのロールプレイについてシナリオの確認。

第10回 9月5日(月)

実践セミナー開催準備状況の最終確認。

第11回 9月17日(土)

実践セミナーの予行演習実施。

第12回 10月18日(火)

セミナーWGとして実践セミナー受講者の評価および合否判定を実施。

第13回 11月24日(木)

反省会の実施。

## (6) 支部サイトWG

主査：金子 力造 副主査：神尾 博

近畿支部からの情報発信及びWG・研究会の活動支援のため、支部ドメインを含むIT基盤・クラウドなどの有効活用を検討し運用を行ってきた。

1. メール及びメーリングリストの運用
2. サイトの活用
  - ・ホームページで例会やセミナー、WG活動などの情報を発信した。
  - ・会員サービスとして例会資料ダウンロードサイトの運用を開始した。
3. クラウドなど外部サービスの利用支援
  - ・支部活動用として、ストレージサービスの利用を開始した。

WGとして体制の強化を図るべく8月に新規メンバーを募集し、次年度活動方針などの検討を含め下記ミーティングを開催した。(新規メンバー：8名)

第1回 9月 2日 (金)

第2回 11月 25日 (金)

## VII. 中四国支部

### 1. 活動概要

- ・月例会の実施。(計10回実施)
- ・西日本支部合同研究会の実施。
- ・支部メーリングリストによる連絡、情報交換等。

### 2. 活動実績

月例研究会(東京)のビデオの視聴及び情報交換を中心に月例会を実施した。

- (1) 1月度月例会 1月19日(水) 18:30-20:30 出席4名  
「大規模システム開発におけるプロジェクト・マネジメントの実際」(ビデオ視聴及び情報交換)
- (2) 2月度月例会 2月16日(水) 18:30-20:30 出席10名  
「カブドットコム証券のIT経営」(ビデオ視聴及び情報交換)
- (3) 3月度月例会 3月16日(水) 18:30-20:30 出席7名  
「新たな情報通信技術戦略について」(ビデオ視聴及び情報交換)
- (4) 4月度月例会 4月20日(水) 18:30-20:30 出席11名  
「システムリスク、その計測・管理・監査で求められているもの」(ビデオ視聴及び情報交換)
- (5) 5月度月例会 5月18日(水) 18:30-20:30 出席12名  
「東証株式売買システム(arrowhead)開発と稼働後の状況」(ビデオ視聴及び情報交換)
- (6) 7月度月例会 7月20日(水) 18:30-20:30 出席4名  
「IFRSプロジェクトをシステム監査する」(ビデオ視聴及び情報交換)
- (7) 8月度月例会 8月17日(水) 18:30-20:30 出席8名  
「りそなグループにおけるシステム監査～監査実務を中心に～」(ビデオ視聴及び情報交換)
- (8) 9月度月例会 9月21日(水) 18:30-20:30 出席9名  
「医療情報システムの安全管理のための3制度について」(ビデオ視聴及び情報交換)
- (9) 10月度月例会 10月19日(水) 18:30-20:30 出席9名  
「学部科目としてのシステム監査」(発表及び情報交換)

- (10) 12 月度月例会 12 月 21 日 (水) 18:30-20:30 出席 7 名  
中四国支部総会 (事業報告、事業計画、等)

西日本支部合同研究会

テーマ 「重要インフラ情報システムとシステム監査」

日時 11 月 19 日 (土) 13:00-17:00 出席 39 名

場所 岡山国際交流センター (岡山県岡山市) イベントホール

### 3. 支部役員

支部長 : 溝下 博 副支部長 : 福田陽一、福原博明  
会 計 : 福原博明 (兼務) 監 事 : 池田光孝  
顧 問 : 大谷完次

## VIII. 九州支部

### 1. 支部の状況と役員体制

●支部会員 40 名 (平成 23 年 11 月末日時点。昨年比 2 名減)

●役員体制

支部長	中溝統明	副支部長	船津 宏 荒添美穂
会計	居倉圭司	監査	松嶋 敦
事務局	福田啓二		
地区担当	(大分) : 梶屋博史 (長崎) : 平山克己 (鹿児島) : 山下博美 (熊本) : 中尾克代		

### 2. 活動概要

#### (1) 月例会の開催

通例どおり、月 1 回の月例会を開催した。(福岡市)  
システム監査学会九州地区研究会との連携を継続した。  
なお、11 月は他イベントが多かった為に休会

#### (2) 西日本支部合同研究会を中部支部主催で開催(11/6)

#### (3) 他団体との合同イベントとして、今年で 8 回目にあたる

大分合同セミナーを特定非営利活動法人 大分 I T 経営推進センター  
社団法人中小企業診断協会 大分県支部、I T C 大分、  
システム監査学会との共催で合同セミナー開催した(11/12)

#### (4) 他支部、関連他団体との連携、情報発信の活発化

システム監査学会 (JSSA)、福岡 IT コーディネータ推進協議会、  
日本 IT ストラテジスト協会 (JISTA) 九州支部、福岡 IT 研究会の  
後援で特別講演会を開催した (3/24)

### 3. 月例会

毎月、東京での月例研究会ビデオ視聴および支部会員の研究・検討・報告事項の発表を中心に行っ  
た。

以下は各月の主要事項。(各回の主要発表事項)

#### (1) 第 240 回 1 月度月例会 1 月 28 日 (土) 13:00~17:00 (参加 : 10 名)

内容 : ・ビデオ視聴 第 158 回月例研究会

「大規模システム開発におけるプロジェクト・マネジメントの実際」

- ・省エネルギー普及指導員研修 (船津)
- ・情報処理学会誌より「クラウド・セキュリティ」 (中溝)

#### (2) 第 241 回 2 月度月例会 2 月 26 日 (土) 13:00~17:00 (参加 : 10 名)

- 内容：・ビデオ視聴 第159回月例研究会  
「カブドットコム証券のIT経営」
- ・日本システム監査人協会 第10期通常総会報告（福田・中溝）
  - ・医療情報システム監査人試験制度・説明会 受講報告（船津）
  - ・医療情報システムに関する監査ガイドライン（中溝）
- (3) 第242回 3月度月例会 3月26日(土) 13:00～17:00（参加：9名）
- 内容：・ビデオ視聴 公認システム監査人継続教育セミナー（2011年3月5日開催）  
「東証新売買システム（arrowhead）の開発経緯とその後の状況」
- ・電力系統の制御システム（福田）
  - ・「できる技術者」とは？（中溝）
- (4) 第243回 4月度月例会 4月23日(土) 13:00～17:00（参加：6名）
- 内容：・ビデオ視聴 第160回月例研究会  
「新たな情報通信技術戦略について」
- ・「2011年版 10大脅威」の考察（中溝）
  - ・「ソフトウェア・リスク管理（第1章）」（中溝）
- (5) 第244回 5月度月例会 5月21日(土) 15:00～17:00（参加：5名）
- 内容：・「レンタルサーバのセキュリティ」（船津）
- (6) 第245回 6月度月例会 6月26日(土) 15:00～17:00（参加：7名）
- 内容：・プライバシーマーク審査員フォローアップ研修報告（船津）
- ・「クラウド時代の人材育成検討委員会報告」IPA(中溝)
- (7) 第246回 7月度月例会 7月23日(土) 13:00～17:00（参加：9名）
- 内容：・ビデオ視聴 第162回月例研究会  
「IFRSプロジェクトをシステム監査する  
～一般事業会社を中心として～」
- ・メーリングリスト利用規則改訂提案（船津）
  - ・システム監査体験セミナー、情報処理試験受験準備講座の開催について
- (8) 第247回 8月度月例会 8月20日(土) 13:00～17:00（参加：5名）
- 内容：・ビデオ視聴 第163回月例研究会  
「りそなグループにおけるシステム監査」
- ・審査員の力量（船津）
  - ・ミスに強い組織（中溝）
- (9) 第248回 9月度月例会 9月24日(土) 14:00～17:00（参加：7名）
- 内容：・ビデオ視聴 第165回月例研究会  
「医療情報システムの安全管理のための3制度について  
～医療情報の利活用のために何をすべきか！～」
- ・ITコーディネータ協会の自治体ビジネス研修「新入門編」～受講報告～（中溝）
- (10) 第249回 10月度月例会 10月27日(土) 14:00～17:00（参加：10名）
- 内容：・システム監査体験セミナー（2/18）打合せ
- ・イベントについて
    - システム監査体験セミナー（2/18）
    - 大分合同セミナー（11/12）
    - 『システム監査』合格をめざす情報処理試験受験準備講座
- (11) 第250回 平成23年度九州支部総会（兼、12月度月例会）（参加：13名）
- 日時：平成23年12月10日(土) 15:00～17:00
- 会場：福岡市早良市民センター第2会議室

内容：

議事（九州支部総会）

- ・平成23年度事業報告
- ・平成24年度事業計画

#### 4. 主催、共催イベント

(1) 2011年度 SAAJ西日本支部研究会

参加：九州支部4名、詳細は中四国支部を参照

(2) 大分合同セミナー

日時：平成23年11月12日（土）13:00～17:00

会場：大分市アイネス2F大会議室

主催：特定非営利活動法人 大分IT経営推進センター

社団法人中小企業診断協会 大分県支部

ITC大分、システム監査学会

日本システム監査人協会 九州支部

後援：特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会

内容：「大規模システムにおけるレガシーマイグレーション

～ システム構造刷新におけるシステム監査の視点 ～」

講師：日本システム監査人協会 九州支部 藤平実氏

参加：SAAJ会員5名

(3) 九州支部 特別講演会

日時：平成23年3月24日（木）18:30～20:30

会場：福岡市天神パークビル

主催：日本システム監査人協会 九州支部

後援：システム監査学会（JSSA）

福岡ITコーディネータ推進協議会

日本ITストラテジスト協会（JISTA）九州支部

福岡IT研究会

講演：東証新売買システム（arrowhead）の開発とその後の状況

（開発プロセスの改善と新しいビジネスモデル出現）

講師：株式会社東京証券取引所常務取締役兼CIO 鈴木義伯氏

参加者：20名

#### 5. メーリングリスト

平成23年（平成22年12月～平成23年11月末）197通

（前年：206通、前々年：400通）

月例会案内および出欠連絡、各種公表（システム監査関連）情報、

セミナー情報など。

## 第2部 会計報告及び会計監査報告

### 1. 2011年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

2011年12月31日現在

特定非営利活動法人日本システム監査人協会

第10期

(単位:円)

科目・摘要	金額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金・預金			
・本部現金預金			
三井住友銀行（日本橋東）	1,365,237		
みずほ銀行（八重洲口）	711,956		
東京三菱UFJ銀行（日本橋）	999,222		
楽天（旧イーバンク）銀行	663,730		
郵便振替口座	21,760		
郵便普通預金	20		
小口現金	98,428		
・支部現金預金			
北海道支部	340,659		
東北支部	94,636		
北信越支部	186,248		
中部支部	653,520		
近畿支部	718,441		
中・四国支部	244,540		
九州支部	178,375	6,276,772	
未収入金（延べ213名分の会費等）		2,162,418	
流動資産合計			8,439,190
<b>2 固定資産</b>			
器具備品			
シュレッダー1台	17,850		
パソコン1台	5,955		
プロジェクター 4台	45,100		
サーバー1台	1	68,906	
ソフトウェア			
新会員管理システム一式	231,000	231,000	
敷金（共同ビル）		1,652,480	
固定資産合計			1,952,386
資産合計			10,391,576
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金		0	
預り金（報酬等に係る源泉徴収税）		358,316	
前受金（翌年以降分の会費）		131,500	
流動負債合計			489,816
負債合計			489,816
<b>III 差引 期末正味財産合計額</b>			<b>9,901,760</b>

2011年度 特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

2011年12月31日現在

特定非営利活動法人日本システム監査人協会

第10期

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産		流動負債	
現金・預金	6,276,772	未払金	0
未収入金	2,162,418	預り金	358,316
		前受金	131,500
流動資産合計	8,439,190	流動負債合計	489,816
		正味財産の部	
固定資産			
器具備品	68,906	前期繰越正味財産	10,747,613
ソフトウェア	231,000	当期正味財産減少額	845,853
敷金	1,652,480		
固定資産合計	1,952,386	正味財産合計	9,901,760
資産合計	10,391,576	負債及び 正味財産合計	10,391,576

## 計算書類に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却

器具備品は定率法、ソフトウェアは定額法により、帳簿価額を直接減額している。

#### (2) 資金の範囲

資金の範囲は、現金と流動性預金としている。前期末及び当期末残高は、下記2に記載した通りである。

#### (3) 消費税に関する会計処理方法

税込方式によっている。なお、控除仕入税額は、消費税法第60条第4項により特定収入に係る課税仕入れ等の税額のみを控除している。

### 2. 次期繰越収支差額の内容

科目	前期繰越残高	当期末残高
現金・預金	6,685,814	6,276,772
合計	6,685,814	6,276,772
固定性預金	0	0
合計	0	0
次期繰越収支差額	6,685,814	6,276,772

### 3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
器具備品	2,567,365	2,498,459	68,906
ソフトウェア	1,617,000	1,386,000	231,000
合計	4,184,365	3,884,459	299,906

## 2011年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支計算書

2011年1月1日から2011年12月31日まで

特定非営利活動法人日本システム監査人協会

第10期

(単位:円)

科 目	予 算 (細目)	実 績 (細目)	差引 (実績-予算)
<b>I 収入の部</b>			
1 入会金・会費収入	10,500,000	9,386,000	△ 1,114,000
入会金収入	130,000	107,000	△ 23,000
会費収入	10,370,000	9,279,000	△ 1,091,000
2 事業収入	9,379,000	8,060,812	△ 1,318,188
普及・啓発、広報事業	0	0	0
研究・研修事業	7,090,000	5,613,262	△ 1,476,738
認定事業	2,289,000	2,447,550	158,550
3 印税収入	0	1,021,545	1,021,545
4 その他収入	1,702,567	1,479,629	△ 222,938
支部収入	2,874,567	2,673,474	△ 201,093
(本部助成金)	△ 1,232,000	△ 1,207,000	25,000
雑収入	60,000	13,155	△ 46,845
当期収入合計 (A)	21,581,567	19,947,986	△ 1,633,581
<b>II 支出の部</b>			
1 事業費	9,877,900	9,519,408	△ 358,492
普及・啓発、広報事業費	2,910,900	2,733,074	△ 177,826
研究・研修事業費	5,167,000	5,319,944	152,944
認定事業費	1,800,000	1,466,390	△ 333,610
2 管理費	11,332,460	10,263,039	△ 1,069,421
通信費	140,000	67,996	△ 72,004
旅費交通費	870,000	604,260	△ 265,740
消耗品費	120,000	164,862	44,862
会議費	420,000	334,866	△ 85,134
事務局手当	3,022,200	3,078,810	56,610
事務所運営費	2,900,000	2,768,417	△ 131,583
ハード・ソフト費用	538,560	482,368	△ 56,192
支部経費・運営費	3,051,700	2,381,133	△ 670,567
雑費	270,000	380,327	110,327
3 印税支払	0	605,405	605,405
4 予備費	0	0	0
5 減価償却費	370,588	370,587	△ 1
6 租税公課	0	35,400	35,400
当期支出合計 (B)	21,580,948	20,793,839	△ 787,109
当期収支差額 (A) - (B)	619	△ 845,853	△ 846,472
前期繰越収支差額 (C)	10,747,613	10,747,613	0
当期繰越収支差額 (A)-(C)	10,748,232	9,901,760	△ 846,472

\*会費収入には、未収入金2,134,000円を含む。

\*支部収入2,673,474円のうち1,207,000円は本部助成金である。

## 2. 2011年度 監査報告

### 監査報告書

1. 特定非営利活動法人日本システム監査人協会における平成23年度（平成23年1月1日から平成23年12月31日）の事業予定・実績表、貸借対照表並びに財産目録は、関係諸帳簿、その他の関係書類を監査したところ、いずれも適正であり、また、公益法人会計基準に準じて正確に作成されたものであることを認めます。
2. 業務遂行に関しては、不正行為または法令もしくは定款に違反する事実は認められません。

平成24年1月28日

特定非営利活動法人日本システム監査人協会

監事 富山 伸夫 

監事 中尾 宏 

## 2012年度 事業計画（案）

### I. 本部

#### 1. 全般

クラウド・コンピューティングなど、企業・組織のIT利活用形態の変化は勿論のこと、防衛産業をターゲットとしたサイバー攻撃の発生、社会保障と税の一体改革の中で予定されるマイナンバー制度の導入、東日本大震災を機に改めて再認識されたBCP/BCMの重要性、更に地方自治法改正の議論の中で検討されている地方公共団体監査制度の抜本見直しなど、システム監査も関係するホットな話題が次々に出てきている。

また、オリンパス、大王製紙、九州電力やらせメール問題などにおける第三者評価委員会の設置を例に挙げるまでもなく、システム監査もその一つである“第三者評価”の活用は社会的に定着した感がある。

このような状況の中、システム監査（システム監査人）の果たすべき役割は、情報社会の一層の進展と相俟って、益々大きくなると予想される。

当協会は、システム監査の普及、促進に、引続き先頭に立ってその役割を果たして行かなければならない。

今年度の協会運営の方向性は、以下の3点とする。

- (1) システム監査の普及、促進活動の一層の推進
- (2) 会員サービスの一層の充実
- (3) 協会財政の一層の健全化

#### (1) システム監査の普及、促進活動の一層の推進

各研究会活動を一層活性化し、システム監査実践ノウハウの蓄積、セミナー、講演会等の開催、公認システム監査人の認定などを通し、システム監査の普及・促進を前期に引き続き進める。

システム監査/管理基準のISO化の推進について協力する。

#### (2) 会員サービスの一層の充実

会員へ、各研究会の活動情報を積極的に提供していくと共に、協会が主催する研究会・セミナーへの割引参加の優遇措置、協会出版図書の割引購入の優遇措置、システム監査人推薦制度運用の一層の活性化などを進める。

#### (3) 協会財政の一層の健全化

支出経費の見直し、事務局業務の一層のIT利活用などにより会員サービスレベルの向上を図りつつ経費の一層の節減に努めると共に、新規会員増・退会会員減等に注力し収入の増加を図る。また、期中を通じた財政状況の把握、管理に努める。

## 2. 教育研修委員会

本年度も前年同様、下記の通りの計画に沿って、特別認定コースを特別講習認定機関に委託し実施する。

### (1) 論文・プレゼンテーションコース（1日コース）

実施回数予定：東京 5回、大阪 2回 計6回

実施時期予定：1月～6月 4回、7月～12月 2回

受講者予定：10名

### (2) システム監査に関する知識コース（2日コース）

実施回数予定：東京 6回、大阪4回 計10回

実施時期予定：1月～6月 5回、7月～12月 5回

受講者予定：16名

### (3) 情報システムに関する知識コース

実施回数予定：東京1回、大阪1回 計2回

実施時期予定：1月～6月 1回、7月～12月 1回

受講者予定：4名

### (4) コース運営管理について

委託機関に対して、講習後の試験採点結果が協会の評価で再提出のない様に、採点を行うことを指導する。

保管ファイルの整理を行い、過去の情報をデジタル保管とする。

## 3. 会報

### (1) 活動計画

- ①システム監査に関心を持つ人への会報、広報誌として情報発信が出来るよう準備を進める。
- ②システム監査実務に有益な会報を目指して、活動報告と掲載論文の募集を継続する。
- ③気軽にエッセイやレポートを投稿できる環境を整備し、会員による積極的な投稿を後押しする。  
例えば、エッセイ「めだか」、CSA コラム、軽いエッセイ風の記事などを充実させる。
- ④電子化した会報の一部を電子書籍として発行する。
- ⑤優れた投稿記事を抽出して紹介する（会報アワード）。

### (2) 特集計画

- ①エッセイ「めだか」の記事数と内容充実を図る。
- ②システム監査を通じた業務効率の向上や経営の品質向上をテーマに、システム監査の普及活動やシステム監査人の活躍状況を特集する。
- ③特集テーマは、システム監査に関する論文、法人部会、基準研究会、月例研究会、事例研究会、課題解決セミナー、情報セキュリティ監査研究会、個人情報保護監査研究会、支部活動、CSA 活動などの報告を紹介する。

### (3) 会報の編集、発行回数

- ①標準フォーマット化を行い、投稿された原稿は電子会報の原稿として編修を簡略化する。
- ②会報の月次発行維持に努めて、会員その他が相互に情報交換できる場を提供する。
- ③会報誌の印刷発行は、経費（印刷、送料）の節減を図って、総会特集の号とする。

## 4. 月例研究会

### (1) 月例研究会の開催回数について

- ・平成23年度は年間9回の研究会を開催した。
- ・平成24年度も年間8回から9回の開催を予定したい。

### (2) 各回のテーマ／講師について

- ・引続き会員の興味を引く、鮮度のよいテーマの選定に努めたい。
- ・また、分野については特定分野に偏らずバランスよく選定していきたい。
- ・講師については、今年度も官公庁、諸団体、民間、大学教員及び当協会関係者等のバランスを考慮していきたい。

### (3) 運営の改善等について

- ・会場費が経費の半分以上を占めており、低廉、かつ足場の良い新たな会場の検討を進めたい。
- ・参加者の内40%近くを占める非会員参加者の入会勧奨の検討を進めたい。

## 5. 法人部会

### (1) 会員の拡大

- ・平成23年は法人正会員が減少した。新規入会が3社あったが、諸般の事情による退会企業が多かったことが原因である。引き続き、法人正会員の増強に向けた活動を行う。具体的には、システム監査企業台帳登録企業への入会案内の送付、システム監査に係わりの深い企業に対する呼びかけを行う。
- ・法人部会、さらには当協会の活動成果のアピールが会員の増強につながるので、活動の充実を図っていく。

### (2) 情報セキュリティセミナーの企画・実施

- ・平成23年は、千葉県南房総市様からセミナー講師派遣の依頼があり、法人会員企業が講師になりセミナーを実施した。
- ・当協会の知名度向上にも意義のある活動であり、セミナーの内容の充実、実施事例のアピールなどによって、さらに広報を行い、実績を上げたい。DMおよびWebサイトでの案内に加えて、新たな案内方法を検討する。

### (3) 会報での法人会員企業紹介

- ・平成23年度に実施すべく会報担当とも検討を行ったが、課題を解決することができず、実現に至らなかった。
- ・法人会員企業にとってメリットのあることであり、引き続き、会報担当と検討していく。

### (4) 会員同士の情報交換

次のようなテーマで、会員企業同士で意見交換を行っていく。

- ・システム監査のビジネス化
- ・システム監査を取り巻く情報；昨年に引き続き、クラウドコンピューティングにおける情報セキュリティをテーマに、情報・意見交換を行っていく。

### (5) 定例部会

- ・原則、月1回開催する。

## 6. CSA利用推進

### (1) 今後の活動計画

- ・CSAのプレゼンスと社会的な評価や価値を高め、具体的な実効を挙げることを目標とする。CSAフォーラムを引き続き隔月開催し、CSAの方々をうまく巻き込んだ実践的な取り組みを推進する。
- ・CSAフォーラムの活性化と事前登録者に対する積極的な参加を促す。合わせて事前登録をしていないCSA（ASA含む）の方々に事前登録の再募集を行い、事前登録者を増やす。
- ・CSA利用推進に対する支援メンバーを募集して、CSA利用推進Gの会合を隔月開催する。その中でCSA認定カード、CSAパンフレット、入札条件への資格記載の依頼等に対する普及フォローを今後強化する。
- ・協会ホームページにおけるCSA関連サイトの内容充実により、CSAフォーラムへの参加有無に関わらず相互研鑽と情報共有の場の充実を図る。
- ・CSAを広く社会に知ってもらうためにCSAに関係した実務書の出版も複数の筆者を募りながら検討を開始する。
- ・会報、HP、メーリングリスト、月例会等との連携については、会報、HP&メーリングリスト、月例会等の担当理事、CSA認定委員会、協会事務局等と協力しながら進めていく。

### (2) 今後の課題

- ・上記の今後の活動計画は昨年度にも掲げたが、担当理事らの時間が確保できず具体的な活動ができなかった。今年はその点を反省して、CSA利用推進G担当理事らにより年間目標、計画、役割分担を決めて、具体的な活動が推進できるように工夫したい。
- ・CSA利用推進の活動をSAAJ会員に幅広く知ってもらうこと、世の中に対してCSAのプレゼンスを高める実効は、まだまだ推進途上である。できるだけCSAフォーラムだけでなく、協会外部に対する活動を見直して活性化する施策を展開したい。そのためにより多くのCSAの方々との連携・協力体制作りを進めたい。
- ・20周年プロジェクトでの検討課題として、引き続き、「システム監査人の役割、要求されるスキルなどの見解のまとめ」について、“CSAフォーラム”における検討テーマとしての取り組みを進める。期待されるシステム監査人としての役割、スキルを整理した上で、より高度なシステム監査人について進むべき人材像の明確化と具体的な育成策の提示を目指していく。

#### 第11期 役員名簿

支部/地域	協会役員	氏名	勤務先名	
関東	理事	力 利則	NECフィールドイング	

## 7. システム監査事例研究会

### (1) システム監査サービス

セミナー教材を充実させるためにも、月例研究会で広報チラシを配るなどして、積極的に受託活動を行う。

### (2) システム監査実務・実践セミナー

公認システム監査人制度の教育制度の一環として、昨年同様システム監査実務セミナー4日間コースを2回、また、監査実践セミナー2日間コースを2回開催したい。具体的な開催計画は、以下の通り。

#### ①第19回システム監査実務セミナー4日間コース

2012年1月21～22日、2月4～5日開催決定

(於：東京都中央区)

## ②第20回システム監査実務セミナー4日間コース

2012年8月25～26日、9月8～9月開催予定

(於：東京都中央区)

## ③第23回システム監査実践セミナー2日間コース

2012年5月19～20日開催予定

(於：東京都中央区)

## ④第24回システム監査実践セミナー2日間コース

2012年11月17～18日開催予定

(於：東京都中央区)

なお、昨年度試行した講師補制度は、次世代の講師を育成する有効な施策であることが確認されたので、今年度も採用する。

### (3) 事例に学ぶ課題解決セミナー

3・6・9・12月の第一土曜日に開催を予定する。これに伴い、教材にふさわしい事例の選択と教材化を平行して進める。

また、支部あるいは企業から依頼があれば、出張セミナーの要請に応じる。

### (4) 月例会の活性化

監査サービスの受託を前提として、進捗報告やメンバーによる情報共有を進める。また、監査サービスの依頼がない場合は、新たな教材の作成や既存教材の見直し計画をたて、継続的に月例会及びワーキンググループで作成を進める。

## 8. 情報セキュリティ監査研究会

### (1) 平成24年研究会研究項目

①情報セキュリティ監査基準の監査に関する情報・ノウハウの共有として、

『情報セキュリティ監査のためのリスクの洗い出し監査ツールの利用』の作成

②企業におけるクラウドサービス利用に関わるセキュリティ監査の研究

### (2) 展開方法(案)

まず、23年の研究テーマである「監査ツール」に区切りをつける。

その次の検討テーマとして、中小規模の企業においても急速に活用場面が広がっているクラウドサービスの利用に関して、セキュリティ監査をどのようにするか、内部監査、外部監査の区別を意識しながら検討したい。これは前項目のリスク洗い出しを充実させることになる。方法としては、セキュリティ対策を意識して、企業はどのようにサービス事業者を利用するか、事業ニーズにどう応えてもらうかを検討するなどが想定できる。クラウドコンピューティングの利活用についての各種ガイドラインなど、公表された資料を参考にする。

### (3) 研究会の開催

事務局を会場として定例的に研究会を開催し、課題の検討結果を持ち寄る方法で進める。

## 9. システム監査基準研究会

### (1) 研究項目

① SAAJ システム管理基準体系

### (2) 研究会項目

1) IT Audit (ISO30120) の ISO 化支援

システム監査の基準の ISO 化の動きに対して、基準研メンバーによる原案作成に引き続き支援予定である。

また以下の国際会議に、基準研より力副会長が参加予定である。

①2012年5月：韓国会議

②2012年11月：ブエノスアイレス会議

2) 各種開発環境・手法における監査のポイント（昨年度中断したテーマ）

①「Webシステムにおける監査のポイント」（開発・利用）

②「BCMにおける監査のポイント」

③「プロジェクトマネジメント監査のポイント」等

年度途中より、上記ISO化検討作業を優先して行うこととしたため会全体としては中断していたが、担当メンバーで進められるところは進めていく。

### **(3) 定例研究会**

・定例研究会は原則月1回。ISO化に係る検討は随時開催予定。

## **10. 個人情報保護監査研究会**

2012年の活動方針として、以下の3項目を掲げる。

1. 「PMS実施ハンドブック」の発行については、A5サイズ版、電子版の両方を視野に入れて発刊をめざす。
2. システム管理基準の個人情報保護コントロール追補案(仲)は、協会ホームページに公表し、普及活動を開始する。
3. 「PMS実施ハンドブック」に、個人情報保護監査サービスの案内を掲載し、事業者のプライバシーマーク取得および更新に寄与する。

## II. 北海道支部

### 1. 定例研究会・勉強会実施

研究会は、テーマを決めて隔月で実施する。基本的に支部員が持ち回りで講師を務める。また、本部より送付される月例会のビデオテープを上映する勉強会を隔月で実施する

### 2. 講演会の実施

年に1度、外部より講師を招いて講演会を実施、広く一般に公開する。他団体との共催により聴衆を増やし知名度を高めるとともに、広く交流を図る

### 3. システム監査の実践

北海道でのシステム監査普及サービスを試行する。また北海道でのシステム監査ビジネスの普及に向けての調査を行う

### 4. 広報

支部活動について対外的な広報、および支部員勧誘を行う。

対外的な広報に関しては、協会のホームページの北海道支部のコーナーを充実させる

### 5. メーリングリストによる連絡

支部メーリングリストにより、支部員間の連絡および情報交換を行う

### 6. 10周年記念行事

2012.1.10、支部設立から10周年を迎えるため、2012年に10周年記念行事を行う。

### 7. 支部体制

支部長	大舘広之
副支部長	小林弘幸、五十嵐洋介
会計	谷口泰正
監事	小柳政行
研究会担当	菊地 圭、本多鉄兵
ML担当	渡部洋子
広報担当	曾根本 育裕

## III. 東北支部

### 1. 月例研究会

- ・定例会を2ヶ月に1回程度、合宿（定例会含む）を6月に開催する。
- ・毎回、会員による活動事例発表を講演する。
- ・定例会の開催場所は仙台市の他、各県での開催を検討しつつ運営する。合宿は例年どおり山形にて開催し、詳細内容は4月の定例会にて決定する。  
2/11（土）、4/14（土）、合宿6/23（土）～24日（日）、8/25（土）
- ・次年度の総会開催に関する理事を開催する。  
11/2（金） 次年度総会開催予定 12/15（土）

### 2. 広報活動

- ・各県のITコーディネータ組織、日本ITストラテジスト協会東北支部との連携を図り、当協会、東北支部の広報宣伝活動を強化する。
- ・協会ホームページの支部便りを活用し、特に、東北支部地域へのシステム監査に関する情報の発信を行う。
- ・協会本部と連携し、入会勧誘の宣伝をする。

### 3. 会員増強



## 2. 活動体制(敬称略)

- 支部長 : 栗山 孝祐(新任)(理事:再任)  
副支部長 : 大友 俊夫(新任)(理事:新任)(例会担当)、  
澤田裕也(新任)(イベント担当)  
会計担当 : 安井 秀樹  
会計監査 : 早川 晃由  
顧問・監事: 田中 勝弘(新任)  
支部担当役員: 山崎(敏)(広報担当)、石井(研究開発担当)  
原(国際取引研究・国際交流)、堤(デジタルコンテンツ担当)  
萬代(システム取引法務研究)、高間(渉外担当)、  
田中(本部研究会ビデオ管理担当)

## 3. 活動内容(予定)

- (1) 例会(奇数月(1月、3月、5月、7月、9月)の土曜日)
- (2) 合宿(11月頃)(日本ITストラテジスト協会と共同開催を検討)  
土曜日午後から日曜日の午前中、テーマ;未定
- (3) その他
  - ・ メーリングリスト等を通じた会員の相互交流、情報提供
  - ・ 中国などとの交流
  - ・ 西日本支部合同研究会(九州支部主催予定)への参画
  - ・ その他

## VI. 近畿支部

### 1. 活動方針

- 定例研究会・システム監査勉強会を基本として、研究会・WG活動を通じて実践的な研鑽活動を行い、更に支部活動を充実させる。
- 役員体制を新たに整備し、活動基盤を強固にする。
- 会員増加に向けて、活動を強化する。

### 2. 支部体制（敬称略）

#### （1）支部役員

- 支部理事（支部長） 林 裕正（新任）
- 支部理事（副支部長・会計） 是松 徹（新任）
- 支部理事（副支部長） 荒町 弘（新任）
- 支部担当役員（コンプライアンスのシステム監査研究会） 雑賀 努（留任）
- 支部担当役員（システム監査法制化研究会） 田淵 隆明（留任）
- 支部担当役員（BCP研究会） 大塚 一志（新任）
- 支部担当役員（セミナーWG） 広瀬 克之（新任）
- 支部担当役員（支部サイトWG） 永田 淳次（新任）
- 支部監事 福德 泰司（留任）

#### （2）支部参与

- 木村 安寿（留任）、安本 哲之助（留任）、吉田 博一（新任）

#### （3）サポーター

- 鈴木 章彦、吉谷 尚雄、松井 秀雄、深田 哲信、神尾 博（5名留任）金子 力造、三橋 潤（2名新任）（順不同）のサポーター各位の協力を得て、支部活動を行う。

### 3. 定例研究会活動

- ・従来同様、隔月（奇数月）の第3金曜日及び12月にて年間7回開催する計画である。
- ・講師の選定等は、当協会会員を中心にリクエストに応じてお願いする。
- ・西日本支部合同研究会（中部支部・北信越支部・近畿支部・中四国支部・九州支部が合同で行う）について、参加する。
- ・各研究会・WGの成果発表や会員の研究報告を行う研究大会は、平成25年の開催を目指す。

### 4. システム監査勉強会

- ・本部定例研究会のビデオによる勉強会で、平成17年度より実施した。
- ・定例研究会の開催されない月（偶数月 12月は除く）の第3土曜日で、年間5回予定。

### 5. セミナー活動

#### （1）システム監査実践セミナー

- 中小企業のシステム監査の模擬監査として、セミナーWG担当役員を中心に計画する。

#### （2）システム監査入門セミナー

- 一日コースのシステム監査の入門研修を行う。セミナーWG担当役員を中心に計画する。

### 6. 研究会・WG活動

- 次の4研究会、2WGを設置し、支部会員により活発な研究会活動やセミナー等の準備作業を行う。

#### （1）コンプライアンスのシステム監査研究会

- 主査：雑賀 努 副主査：吉田 博一

- コンプライアンスのシステム監査基準の作成を目標として、現状通り月に1回の研究会を基礎に行う。システム監査学会との共同プロジェクトとして実施する。

#### （2）システム監査法制化研究会

- 主査：田淵 隆明

システム監査の法制化について、業種別に課題を検討し、国民生活への影響を軸に優先度を決定し、実現に向けてのロードマップを作成する。

(3) BCP研究会

主査：大塚 一志

企業におけるBCPの策定にあたっての課題や企業が抱える課題について、システム監査人として検討する。

(4) クラウド研究会

主査：松田 貴典 副主査：雑賀 努 深瀬 仁（システム監査学会）

クラウドコンピューティングにおけるシステム監査について、システム監査学会と共同プロジェクトとして、実施する。

(5) セミナーWG

主査：広瀬 克之

入門セミナー(1日コース)、実践セミナー(2日コース)他のセミナーについて、開催する。

(6) 支部サイトWG

主査：永田 淳次

こなれた技術をベースに、会員間のコミュニケーションのさらなる円滑化をはかり、また、近畿支部の活動の内容を協会内外の方々に理解していただけるようなコンテンツの構築について検討していきたい。

① 活用案（コンテンツの充実）

- ・支部会員の紹介記事を、年に4名～5名を目標として掲載する
- ・研究会や会員の成果物の中から、公開可能なものを掲載する。
- ・CSAの認知度アップにつながるようなコンテンツを検討する。

② 整備案（ルールの整備とセキュリティ対策）

- ・管理基準から、必要なコントロールやルールを検討していく。
- ・サーバ運用上の新しい脅威に対しては、随時対策を調査検討する。

③ その他（今後のWG活動につながる研究）

- ・次世代のICT技術や活用法について勉強会を開催する。
- ・システム監査普及につながるコンテンツについて具体化を検討する。

## 7. システム監査普及サービス

システム監査業務ノウハウの確立と普及、時代に即したシステム監査人の養成のために、積極的な広報活動と体制整備につとめる。

## 8. 支部運営体制について

(1) 円滑な支部運営

支部役員の体制を強化し、サポーターと連携して、支部運営を行う。

(2) 支部サイトの活用

支部サイトを活用し、各種活動を支援する。支部サイトWGにて、活用策を検討する。

(3) 会員増加に向けた取り組み

支部サイトを通じた情報発信や情報処理技術者試験会場でのチラシの配布等を行い、会員増加に向けた取り組みを行う。

## Ⅶ. 中四国支部

### 1. 活動方針

- ・中四国支部会員及び公認システム監査人の継続的な研鑽と情報交換の場を提供する。
- ・中四国地域で唯一のシステム監査人の団体として、システム監査に関わる窓口組織となるべく

広報等により知名度向上に努める。

## 2. 活動計画

- (1) 例会の開催
  - ・月例研究会のビデオ視聴
  - ・その他、情報交換
- (2) 他支部、他団体との連携
  - ・地域の諸団体との共催によるセミナー開催

## 3. 役員体制

支部長：溝下 博	副支部長：福田陽一、廣末 浩之、田川 誠
会 計：福原博明	監 事：本多美和子
顧 問：大谷完次	

## VIII. 九州支部

### 1. 活動計画

- (1) 月例会の開催 原則月1回の月例会を継続する。
  - ・参加者が発表しやすい企画。
  - ・年1～2回程度の外部講師による講演の企画。
  - ・システム監査学会九州地区研究会および ISACA 福岡支部（設立予定）との連携
- (2) イベント企画・推進
  - ①イベント企画
    - ・『システム監査技術者試験』合格をめざす受験準備講座
      - － 2012年2月11日予定
    - ・システム監査体験セミナー
      - － 2012年2月18日予
  - ②テーマ活動
    - ・研究活動（支部会員のシステム監査の技術水準向上）
      - － システムリスクの研究
      - － 協会講座の利活用
    - ・普及活動（支部においてシステム監査の普及）
      - － システム監査合格者勧誘
      - 試験会場での会員募集チラシ配布、試験の対策講座の開催
      - － システム監査の重要性・価値をアピール
    - ・営業活動（支部会員のシステム監査ビジネスの拡大）
      - － システム監査人（資格）の有効性・信頼性を発揮
      - － システム監査ビジネスの潜在ニーズを発掘
- (3) 他支部、他団体との合同企画・開催。
  - ・西日本支部合同研究会の開催
    - 2011年度は九州支部主催で開催予定
  - ・福岡 ITC 推進協議会はじめ九州各県の ITC 組織、日本 IT ストラテジスト協会九州支部等の関連団体とのイベント共催を推進する。
- (4) 関連他団体との連携、情報発信の活発化
  - ・関連団体主催のイベントへの後援などを通じ連携を深めるとともに、当協会の紹介などを活発に行う。
- (5) メーリングリストによる情報・意見交換の一層の活発化

(6) 情報発信、広報活動の活性化

- ・支部の活動計画、実績をホームページを中心に発信、広報に努める。

(7) その他、支部活動整備

- ・支部会員名簿の整備を進める。

## 2. 役員体制

支部長	中溝統明	副支部長	船津 宏	荒添美穂
会計	居倉圭司	監査	松嶋 敦	
事務局	福田啓二			
地区担当	長崎	平山克己		
	大分	梶屋博史		
	鹿児島	山下博美		
	熊本	中尾克代		

## 2012年度予算 (案)

### 2012年度 特定非営利活動に係る事業会計 事業予算科目案

2012年1月1日から2012年12月31日まで

特定非営利活動法人日本システム監査人協会

第11期

(単位：円)

科目	予算 (細目)		備考
<b>I 収入の部</b>			
1 入会金・会費収入	8,600,000		
入会金収入		100,000	
会費収入		8,500,000	
2 事業収入	11,526,000		
普及・啓発、広報事業		0	
研究・研修事業		7,486,000	月例会、セミナー、研究会等
認定事業		4,040,000	認定料、登録料、更新料
3 寄付金収入	0	0	
4 その他収入	1,512,000		
支部収入		2,627,000	支部研修会収入等
		△ 1,115,000	本部助成金
雑収入	0	0	受取利息等
当期収入合計 (A)	21,638,000		
<b>II 支出の部</b>			
1 事業費	11,546,000		
普及・啓発、広報事業費		3,270,000	会報、パンフ、ホームページ等
研究・研修事業費		7,096,000	各研究会、セミナー講師料等
認定事業費		1,180,000	認定員手当、認定票作成費
2 管理費	8,982,000		
通信費		68,000	
旅費交通費		604,000	
消耗品費		165,000	
会議費		335,000	
事務局手当		2,400,000	
事務所運営費		1,870,000	
ハード・ソフト費用		254,000	
支部経費		2,936,000	
雑費		350,000	
3 事務所工事費	800,000	800,000	事務所集約工事
4 減価償却費	300,000	300,000	
5 租税公課	0		
当期支出合計 (B)	21,628,000		
当期収支差額 (A) - (B)	10,000		
前期繰越収支差額 (C)	9,901,760		
当期繰越収支差額 (A) - (B) + (C)	9,911,760		

#### 4. 2012年度 役員選任

##### 第11期 役員候補者名簿

	支部／地域	協会役員	氏名	
1	関東	理事	安部 晃生	
2	関東	理事	梅里 悦康	新任
3	関東	理事	榎本 吉伸	
4	関東	理事	遠藤 誠	
5	関東	理事	大石 正人	
6	関東	理事	小野 修一	
7	関東	理事	木村 裕一	
8	関東	理事	久保木 孝明	新任
9	関東	理事	越野 雅晴	新任
10	関東	理事	斎藤 茂雄	
11	関東	理事	斎藤 由紀子	
12	関東	理事	桜井 由美子	
13	関東	理事	清水 恵子	
14	関東	理事	鈴木 信夫	
15	関東	理事	鈴木 実	
16	関東	理事	館岡 均	新任
17	関東	理事	力 利則	
18	関東	理事	仲 厚吉	
19	関東	理事	中尾 宏	新任
20	関東	理事	中山 孝明	
21	関東	理事	西宮 恵子	新任
22	関東	理事	沼野 伸生	
23	関東	理事	馬場 孝悦	
24	関東	理事	原 純江	
25	関東	理事	藤澤 博	新任
26	関東	理事	藤野 明夫	新任
27	関東	理事	松枝 憲司	
28	関東	理事	松尾 正行	新任
29	関東	理事	三谷 慶一郎	
30	関東	理事	三輪 智哉	
31	北海道	理事	大館 広之	
32	東北	理事	高橋 典子	
33	北信越	理事	宮本 茂明	
34	中部	理事	栗山 孝祐	
35	中部	理事	大友 俊夫	新任
36	近畿	理事	林 裕正	新任
37	近畿	理事	是松 徹	新任
38	近畿	理事	荒町 弘	新任
39	中四国	理事	溝下 博	
40	九州	理事	中溝 統明	
41		監事	金子 長男	新任
42		監事	富山 伸夫	